

## 5 ソルガム

### (1) 国際的なソルガム需給の概要

#### ○2008/09年度のソルガム需給（予測）のポイント

ソルガムの供給面では、アルゼンチン等で増加することから世界の生産量は増加が見込まれている。

需要面では、EU等で昨年度に急増した飼料用需要が小麦の生産回復により減少することが見込まれるため、世界の消費量は減少が見込まれている。

期末在庫量については、生産量が消費量を上回ることから増加し、期末在庫率も上昇すると見込まれている。

#### 【生産量】

生産量は、インドや世界の主要な生産・輸出国である米国等で減少するものの、アルゼンチン等で増加することから世界全体では前年度より0.3百万トン増加（0.4%）し、63.8百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.2百万トン上方修正されており、国別には米国が上方修正された。

#### 【消費量】

消費量は、米国等で増加するものの、EU等で昨年度に飼料用小麦の代替として急増した需要が小麦等の生産回復により減少することが見込まれるため、世界全体では前年度より0.7百万トン減少（▲1.2%）し、62.5百万トンとなる見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.4百万トン下方修正されており、国別には米国等が下方修正され、メキシコが上方修正された。

#### 【貿易量】

世界全体の貿易量は、前年度より4.3百万トン減少（▲46.9%）し、4.9百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国では貿易量の約7割を占める米国で輸出量の減少が見込まれている。一方、輸入国では、EUで飼料用需要の減少から輸入量の減少が、メキシコ等で増加が見込まれている。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.2百万トン上方修正されており、国別にはアルゼンチンの輸出量、メキシコの輸入量がともに上方修正された。

#### 【期末在庫量】

期末在庫量は、生産量が消費量を上回ることから世界全体では前年度より1.4百万トン増加（30.2%）し、5.8百万トンとなり、期末在庫率は9.2%（2.2ポイント増）と上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、世界全体で0.5百万トン上方修正されており、国別には米国が上方修正され、アルゼンチンが下方修正された。

表－1 世界のソルガム需給

(単位:百万トン)

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
<b>生産量</b>	<b>56.6</b>	<b>63.5</b>	<b>63.8</b>	<b>0.2</b>	<b>0.4</b>
米国	7.0	12.6	12.0	0.2	▲ 5.0
ナイジェリア	10.5	10.0	11.0	-	10.0
インド	7.2	7.8	6.5	-	▲ 16.5
メキシコ	5.8	6.1	6.2	-	1.6
スーダン	5.2	4.5	4.7	-	4.4
アルゼンチン	3.3	2.9	4.3	-	46.8
エチオピア	3.3	3.2	3.3	-	2.2
<b>消費量</b>	<b>57.0</b>	<b>63.2</b>	<b>62.5</b>	<b>▲ 0.4</b>	<b>▲ 1.2</b>
うち飼料用	22.3	29.3	27.2	▲ 0.2	▲ 7.1
ナイジェリア	10.5	10.0	11.0	-	10.1
メキシコ	8.1	7.1	8.1	0.3	14.1
インド	7.1	7.8	6.5	-	▲ 15.9
米国	4.0	5.1	7.6	▲ 0.5	50.6
スーダン	5.0	5.2	5.0	-	▲ 4.3
エチオピア	3.1	3.2	3.3	-	2.9
EU-27	1.3	6.1	1.2	▲ 0.1	▲ 80.3
<b>貿易量</b>	<b>5.5</b>	<b>9.2</b>	<b>4.9</b>	<b>0.2</b>	<b>▲ 46.9</b>
(輸出)					
米国	3.9	7.1	3.3	-	▲ 53.2
アルゼンチン	1.1	1.1	0.8	0.2	▲ 27.3
オーストラリア	0.1	0.5	0.3	-	▲ 40.0
ブラジル	0.1	0.1	0.2	-	75.4
中国	0.1	0.2	0.2	-	▲ 32.7
ナイジェリア	0.1	0.1	0.1	-	0.0
インド	0.0	0.0	0.0	-	▲ 16.7
(輸入)					
EU-27	0.7	5.8	0.5	-	▲ 91.4
メキシコ	2.0	1.2	2.0	0.3	73.0
日本	1.3	1.1	1.4	-	24.5
スーダン	0.3	0.3	0.3	-	▲ 1.3
チリ	0.2	0.3	0.2	-	▲ 50.0
イスラエル	0.1	0.2	0.1	-	▲ 33.3
ニュージーランド	0.1	0.1	0.1	-	0.0
<b>期末在庫量</b>	<b>4.1</b>	<b>4.4</b>	<b>5.8</b>	<b>0.5</b>	<b>30.2</b>
米国	0.8	1.3	2.4	0.7	80.2
スーダン	1.0	0.5	0.5	-	▲ 0.9
エチオピア	0.4	0.4	0.4	-	▲ 5.9
アルゼンチン	0.4	0.2	0.8	▲ 0.2	333.3
メキシコ	0.2	0.4	0.5	-	26.8
ナイジェリア	0.2	0.2	0.2	-	0.0
インド	0.2	0.2	0.2	-	▲ 23.7
<b>期末在庫率</b>	<b>7.2%</b>	<b>7.0%</b>	<b>9.2%</b>	<b>0.8</b>	<b>2.2</b>

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」

(2) ソルガムの主要生産・輸出国等の需給状況

ア 米国

【需給状況】

米国の生産量は、収穫面積は増加するものの、単収の減少から前年度より0.6百万トン減少（▲5.0%）し、12.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用とうもろこしの価格高騰に伴い、ソルガムの飼料用需要の増加が見込まれることから前年度より2.5百万トン増加（50.6%）し、7.6百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の減少とEUの輸入量の減少から前年度より3.8百万トン減少（▲53.2%）し、3.3百万トンとなる見込みである。

この結果、生産が消費と輸出を上回ることから期末在庫量は前年度より0.9百万トン増加（80.2%）し、2.4百万トンとなり、期末在庫率は22.1%（11.0ポイント増）まで上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、生産量が0.2百万トン上方修正され、消費量が0.5百万トン下方修正されたことから、期末在庫量が0.7百万トン上方修正された。

【生育進捗状況及び作柄】

米国のソルガムの収穫は終了した。

作柄については、優良が9%と前年度の最終の15%に比べ低く、優良～普通までの合計でも86%と前年度の最終の91%を下回っている。

（我が国の輸入先国シェア1位（2007年数量ベース 57.1%）  
世界の生産量シェア 1位（2008/09年度 18.8%）  
輸出量シェア 1位（2008/09年度 67.4%）

表-2 米国のソルガム需給（市場年度：9月～翌年8月）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	7.0	12.6	12.0	0.2	▲ 5.0
消費量	4.0	5.1	7.6	▲ 0.5	50.6
うち飼料用	2.9	4.2	5.8	▲ 0.5	40.2
輸出量	3.9	7.1	3.3	-	▲ 53.2
輸入量	0.0	0.0	0.0	-	▲ 100.0
期末在庫量	0.8	1.3	2.4	0.7	80.2
期末在庫率	10.3%	11.1%	22.1%	7.0	11.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	2.00	2.75	2.94	▲ 0.05	6.9
単収(t/ha)	3.52	4.60	4.08	0.13	▲ 11.3

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、  
「World Agricultural Production」

○ 米国ソルガムの作柄

[ 作 柄 ]

		単 位 : %				
		優良	良	普通	不良	極不良
ソルガム	2008/09	9	44	33	11	3
	前年度同時期	...	...	...	...	...
	前年度最終	15	49	27	7	2

注：優良-Excellent、良-Good、普通-Fair、不良-Poor、極不良-Very Poor

資料：USDA「Crop Progress」ただし、作柄については11月2日現在のデータである。

注：生育進捗状況の（ ）内は前年同時期及び同時期の平年値（過去5年）との比較である。

## イ アルゼンチン

### 【需給状況】

アルゼンチンの生産量は、収穫面積及び単収の増加から前年度より1.4百万トン増加（46.8%）し、4.3百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用需要の増加から前年度より0.9百万トン増加（45.0%）し、2.9百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より0.3百万トン減少（▲27.3%）し、0.8百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、生産量が消費量と輸出量を上回ることから前年度より0.6百万トン増加（333.3%）し、0.8百万トンとなり、期末在庫率も21.1%（15.3ポイント増）と大幅に回復する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、輸出量が0.2百万トン上方修正されたことから、期末在庫量が0.2百万トン下方修正された。

### 【生育進捗状況及び作柄】

アルゼンチンの2008/09年度のソルガムの作付けは、主要産地のサンタフェ州を中心に10月頃から始まっている。1月15日現在の作付進捗率は83.0%で、平年に比べ遅れている。主要産地のブエノスアイレス州、サンタフェ州の農家は著しい乾燥天候のため1月以降作付けを進められないでいる。コルドバ州では作付けは終了している。なお、1月26日に主要産地において非常事態が宣言されている。

## ウ 中国

### 【需給状況】

中国の生産量は、収穫面積は減少するものの、良好な天候を反映して単収が増加することから前年度より0.1百万トン増加（5.3%）し、2.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.1百万トン増加（5.9%）し、1.8百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より7.3万トン減少（▲32.7%）し、0.2百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度より5.5万トン増加（67.1%）し、14万トンとなり、期末在庫率も7.0%（2.8ポイント増）と上昇する見込みである。

なお、前月の予測からの改訂は、2007/08年度の輸出量がわずかに下方修正されたことから、2008/09年度の期首在庫量の上方修正に伴い、期末在庫量がわずかに上方修正された。

### 【貿易情報】

中国については、増値税の輸出還付を取り消し、輸出税を課していたが、12月1日からは、輸出税は撤廃されている。

〔我が国の輸入先国シェア2位（2007年数量ベース 31.2%）〕  
世界の輸出量シェア 2位（2008/09年度 16.3%）

表－3 アルゼンチンのソルガム需給  
（市場年度：翌年3月～翌々年2月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	3.3	2.9	4.3 (4.3)	-	46.8
消費量	2.0	2.0	2.9 (3.4)	-	45.0
うち飼料用	1.8	1.8	2.7 (3.1)	-	50.0
輸出量	1.1	1.1	0.8 (0.7)	0.2	▲ 27.3
輸入量	0.0	0.0	0.0 (0.0)	-	...
期末在庫量	0.4	0.2	0.8 (0.4)	▲ 0.2	333.3
期末在庫率	11.4%	5.8%	21.1% (9.9%)	▲ 6.9	15.3
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.62	0.81	0.83 (...)	-	2.5
単収(t/ha)	5.32	3.64	5.21 (...)	-	43.1

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」  
IGC 「Grain Market Report (27 November 2008)」

〔我が国の輸入先国シェア3位（2007年数量ベース 11.6%）〕  
世界の輸出量シェア5位（2008/09年度 3.1%）

表－4 中国のソルガム需給  
（市場年度：10月～翌年9月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	2.0	1.9	2.0 (2.0)	-	5.3
消費量	2.0	1.7	1.8 (...)	-	5.9
うち飼料用	0.2	0.1	0.1 (...)	-	0.0
輸出量	0.1	0.2	0.2 (0.1)	-	▲ 32.7
輸入量	0.0	0.0	0.0 (...)	-	...
期末在庫量	0.1	0.1	0.1 (...)	0.0	67.1
期末在庫率	4.5%	4.3%	7.0% (...)	1.4	2.8
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.57	0.55	0.50 (...)	-	▲ 9.1
単収(t/ha)	3.53	3.45	4.00 (...)	-	15.9

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」  
IGC 「Grain Market Report (27 November 2008)」

## エ オーストラリア

### 【需給状況】

オーストラリアの生産量は、夏の降雨に恵まれ豊作だった前年度に比べ単収の減少が見込まれることから前年度より1.1百万トン減少（▲34.9%）し、2.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用需要の減少から前年度より0.6百万トン減少（▲24.9%）し、1.8百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の減少から前年度より0.2百万トン減少（▲40.0%）し、0.3百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度より0.1百万トン減少（▲57.4%）し、0.1百万トンとなり、期末在庫率も3.7%（2.6ポイント減）となる見込みである。

なお、前月の予測から改訂は行われていない。

### 【生育進捗状況及び作柄】

オーストラリアのソルガムの作付けは、9月頃から始まっている。乾燥傾向が続いていたが、10月から12月にかけて主要産地のクイーンズランド州南部とニューサウスウェールズ州北部で平年以上の降雨に恵まれたために生育状況は改善している。

## オ インド

### 【需給状況】

インドの生産量は、収穫面積及び単収の減少が見込まれることから、前年度より1.3百万トン減少（▲16.5%）し、6.5百万トンとなる見込みである。

消費量は、生産量の減少に伴い、前年度より1.3百万トン減少（▲15.9%）し、6.5百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は、前年度並みの0.2百万トンとなり、期末在庫率も2.7%（0.3ポイント減）となる見込みである。

なお、前月の予測から改訂は行われていない。

### 【生育進捗状況及び作柄】

インドのラビ（春夏）期のソルガムは、主要産地のマハラシュトラ州、カルナタカ州でサトウキビから作付けがシフトしており、これらの地域での生育は順調である。

## （世界の輸出量シェア 4位（2008/09年度 6.1%））

表-5 オーストラリアのソルガム需給  
（市場年度：翌年3月～翌々年2月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値 (ABARE)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率 (%)
生産量	1.3	3.1	2.0 (2.1)	-	▲ 34.9
消費量	1.2	2.4	1.8 (1.5)	-	▲ 24.9
うち飼料用	1.2	2.4	1.8 (1.5)	-	▲ 25.0
輸出量	0.1	0.5	0.3 (0.6)	-	▲ 40.0
輸入量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
期末在庫量	0.0	0.2	0.1 (…)	-	▲ 57.4
期末在庫率	1.2%	6.3%	3.7% (…)	-	▲ 2.6
(参考)					
収穫面積(百万ha)	0.61	0.85	0.80 (0.72)	-	▲ 5.9
単収(t/ha)	2.09	3.64	2.50 (2.97)	-	▲ 31.3

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」  
ABARE 「AUSTRALIAN CROP REPORT (9 December 2008)」

## （世界の生産量シェア 3位（2008/09年度 10.2%））

表-6 インドのソルガム需給（市場年度：11月～翌年10月）

年度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09		
			予測値 (IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率 (%)
生産量	7.2	7.8	6.5 (6.5)	-	▲ 16.5
消費量	7.1	7.8	6.5 (…)	-	▲ 15.9
うち飼料用	1.2	1.5	1.2 (…)	-	▲ 20.0
輸出量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	▲ 16.7
輸入量	0.0	0.0	0.0 (…)	-	…
期末在庫量	0.2	0.2	0.2 (…)	-	▲ 23.7
期末在庫率	3.5%	3.0%	2.7% (…)	-	▲ 0.3
(参考)					
収穫面積(百万ha)	8.51	8.40	7.50 (…)	-	▲ 10.7
単収(t/ha)	0.84	0.93	0.87 (…)	-	▲ 6.5

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」  
「World Agricultural Production」  
IGC 「Grain Market Report (27 November 2008)」